
令和6年 第4回 高千穂町議会定例会会議録(第4日)

令和6年12月18日(水曜日)

議事日程(第4号)

令和6年12月18日 午前10時00分開議

日程第1 一般質問

本日の会議に付した事件

日程第1 一般質問

出席議員(13名)

1番 藤田 利廣議員	2番 田中 義了議員
3番 佐藤さつき議員	5番 板倉 哲男議員
6番 磯貝 助夫議員	7番 本願 和茂議員
8番 中島 早苗議員	9番 馬原 英治議員
10番 坂本 弘明議員	11番 工藤 博志議員
12番 富高健一郎議員	13番 富高 友子議員
14番 佐藤 定信議員	

欠席議員(なし)

職務のため議場に出席した事務局職員の職氏名

局長 興梠 恵志	書記 興梠 貴
----------	---------

説明のため出席した者の職氏名

町長 …………… 甲斐 宗之	副町長 …………… 藤本 昭人
教育長 …………… 戸敷 二郎	総務課長 …………… 興梠 貴俊
財政課長 …………… 霜見 勉	総合政策課長 …………… 湯川 哲
税務課長 …………… 谷川 保孝	町民生活課長 …………… 佐伯 竜也
企画観光課長 …………… 安在 浩	福祉保険課長 …………… 飯干 由紀
農林振興課長兼農業委員会事務局長 ……………	佐藤 峰史

農地整備課長 …………… 江藤 武憲 建設課長 …………… 甲斐 徹
会計管理者 …………… 佐藤 美和
保健福祉総合センター所長 …………… 工藤加代子
上下水道課長 …………… 飯干 和宣
教育委員会次長兼教育総務課長 …………… 林 謙一
監査委員 …………… 中尾 清美

午前10時00分開議

○事務局長（興梠 恵志事務局長） 御起立をお願いいたします。一同、礼。

〔起立・礼〕

○事務局長（興梠 恵志事務局長） 御着席ください。

○議長（坂本 弘明議員） これから本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、お手元に配付のとおりであります。

日程第1. 一般質問

○議長（坂本 弘明議員） 日程第1、一般質問を行います。

質問をされる方は、町長及び教育長の最初の答弁以降については、質問の内容に応じて答弁者を指名し、執行側の権限が及ぶ範囲内で再質問をお願いします。

また、質問に徹し、要望やお願い、お礼の言葉を厳に慎むようお願いいたします。

最初に、佐藤さつき議員の質問を許します。質問席に登壇願います。

○議員（3番 佐藤さつき議員） おはようございます。それでは、ただいまより一般質問をさせていただきます。議席番号3番、佐藤さつきです。

1点目、教育環境の整備について。

令和7年4月より、本町は、町立としては中学校が1校になり、町内の中学生が全員高千穂中学校に通学することになります。しかしながら、学校の教育を受ける環境としては、早急な改善を必要とする点が多数あります。

高千穂町は、令和6年2月に高千穂中学校移転新築検討委員会の答申を受け、同年8月、高千穂中学校建設検討委員会を設置し、ようやく高千穂中学校移転新築計画がスタートいたしました。が、予定どおりのスケジュールで学校建設が進んだとしても、子供たちは令和11年の夏にしか、整備された教育環境で学習することができません。

将来の高千穂町を担う人材を育てるためにも、今の大人である私たちができることは、一日でも早く環境を整備してあげることだと思います。加えて、高千穂中学校の教育環境整備の必要性

は、自分が教育委員を務めていた平成20年代からの長年の課題であり、早急な対策が必要とされてきました。

前町長において、平成27年に高千穂中学校の移転新築の意向が示され、行政は10年近く、検討の期間を持ちました。今まで学校建設が進まなかったからといって今さら急がずゆっくり検討すべきことではないと私は考えております。

南海トラフの危険性が予測される中、最短でも4年半、老朽化した中学校で教育を受ける子供たちがいると考え、これ以上、整備を遅らすことは、将来を担う子供たちに対し、あってはならないことだと思います。長年、いずれ新築移転するからと昭和30年代に建設された特別教室の改修を諦め、冷房もない教室を使用するなど高千穂中学校校区の住民は長年我慢してきました。しかし、それは教育の機会均等の視点から間違いであり、行政の手抜きだったと考えます。

新築移転が予定されているまでの4年半の間、通学する子供たちのために現高千穂中学校の老朽化について、早急な対策が必要と考え、問題点について、町長、または教育長に伺います。

1、昭和38年建築の特別教室は、使用する際に移動に時間がかかるが、生徒が休み時間に本来すべきことが、特別教室を使用する際にはできているのか。

2、特別教室の中にあるトイレは、男子と女子が単独で設置されていないため、ジェンダー教育が叫ばれる中、改善すべきでは。

3、異常気象が見られる近年、大雨などのときは、特別教室使用の際、移動はどのようにしているのか。授業に影響を及ぼすことはないのか。

4、昭和53年建築の普通教室棟の手洗い場、トイレなどの排水口からは、悪臭が漂い、暖かくなると多数の消臭剤を使用しており、ほかの学校では考えられないことだが、どのように対応するのか。

5、Wi-Fiが常時使用しづらい状況と聞いている。タブレット授業に影響するのではと危惧していたが、現状はどうか。

6、雨漏りの箇所は全て修理できたのか。

7、昭和52年建築の体育館は、壁に穴が開いている。体育館の床は不自然な盛り上がりがあり、そのままにしておくと劣化して危険になる箇所が多い。その対策は。

8、生徒が使用している机や椅子は劣化しているものやサイズが合っていないものがある。対応はどのようにするのか。

9、昭和53年建築の給食室は、当時のままで、調理員の休憩室は狭く、更衣室がない。調理室内の手洗い場所も限られており、利用しにくい、対応はどのように考えているのか。

10、校舎内の至るところに見られる天井の黒ずみ、壁や床などの劣化対策は、どのように考えているのか。

1 1、移転新築予定の中学校は、南海トラフ地震を見据え、住民のための避難所の機能も備える予定と聞いているが、そこにはペット連れの避難者、高齢者や子供連れの方などの個別対応も予定されている。現状の高千穂中学校での生徒の災害時の安全確保は、どのように考えているのか。

次に、2点目、ふれあい給食サービスについて。ふれあい給食サービスの代替場所について、考えを伺いたい。

3点目、正月の街中の交通渋滞対策について。年々観光客が増え、正月の三田井中心部における交通渋滞について、どのように考えているのか伺いたい。例年、三田井中心部は、神社や高千穂峡、トロッコ列車などの有名な観光地が密集しており、お参りに来る人と観光客など、たくさんいるので、お正月には交通渋滞が発生している。本年度はアニメの聖地として11月に宣伝を開始したことも加わり、例年以上の渋滞が予測される。

昨年、一部の住民から、「身動きが取りづらい」、観光客や参拝者からは、「目的地に行くのを断念した」などの声が聞かれたため、駐車場を確保し、案内サービスをしてはどうかと町に相談したところ、お正月は、どこの神社も渋滞が当たり前だからという返事を担当から頂いた。

しかし、住民が不便を訴え、新たな事業として、アニメの聖地などの宣伝をしており、お客様に来ていただくのであれば、受入体制の整備が必要であり、そうすることが住民サービスにもつながると考える。再度伺いますが、お正月の交通渋滞解消に向けて、対策は考えているのでしょうか。

以上、質問とさせていただきます。

○議長（坂本 弘明議員） 教育長、登壇願います。

○教育長（戸敷 二郎教育長） それでは、佐藤さつき議員の御質問にお答えいたします。

1件目の教育環境の整備についてのうち、1点目の昭和38年建築の特別教室棟は移動に時間がかかるが、生徒が本来、休み時間にすべきことができているのかについてであります。授業間の時間は10分間となっており、生徒はこの時間を使って、次の授業の準備やトイレ、また、前の授業が体育等の授業であった場合には着替えなどを行っています。

しかし、特別教室棟と普通教室棟は距離がある関係で時間的な余裕がないため、小走りで移動する生徒も少なくなく、給食の準備なども他の学級、移動のない学級よりも遅れることが多く、支障を来しているとのこと。学校では、時間割の組み立てや前の授業の終わりの時間を厳守しているようではありますが、生徒の負担は少なくないと考えます。

次に2点目の、特別教室棟のトイレは、男子と女子が単独で設置されていないが、ジェンダー教育が叫ばれる中、改善すべきではについてであります。御指摘のとおり、ジェンダーのみならず、同じ空間に男女の別なく同時に用が足せる状況は望ましくなく、それが嫌で特別教室から

校舎まで移動して用を足している生徒もいるとのこと。この状況は、現代のジェンダー教育の観点からしても好ましくないため、早急の改善が必要であると考えております。

次に3点目の、大雨時に特別教室棟を使用する際、移動時や授業に影響はないのかについてですが、異常気象等の下での特別教室への移動も、通常の日と変わらずに移動しており、雨天や雪、強風の際に100メートル近くある移動をする際は、制服が濡れたり、階段で転んでけがをする生徒もいたとのこと。

また、屋根付きの渡り廊下がありますが、横殴りの雨などの場合は、その用を十分に果たしておらず、生徒の安全確保が一番であるため、そのような場合は、教室で授業をするなどして対応していますが、理科の実験、音楽の歌唱指導や楽器演奏、美術の絵の具等の特別な機材を用いた授業を行う際には、その限りではないため、生徒に負担を強いる状況となっています。

次に4点目の、昭和53年建築の普通教室棟の手洗い場、トイレ等の排水口の悪臭対策として消臭剤を使用しているようだが、今後の対応はについてですが、トイレの排水口からの悪臭については、根本的な改修をしない限り、改善は見込めない状況となっており、消臭剤を大量に購入したり水を念入りに流すなどして対応している状況にあります。

しかし、特に夏場はいかんともし難い状況にあり、衛生面からも応急的な対応ではなく、抜本的に早急な対応を学校からお願いされておりますが、今のところ改善には至っておりません。

次に5点目の、Wi-Fiが常時使用しづらい状況と聞いているが、タブレット授業への影響はについてですが、Wi-Fiがつながりづらい状況が発生した場合は、学校のほうで記録を取っていただき、ICT支援の業者に依頼して改善を図ってきておりますが、要因には、機器の老朽化や容量などの影響も考えられ、十分な対応ができていない状況です。

そのため、タブレットを活用した授業では、不具合が生じた場合には授業がストップすることもあり、生徒に活用させる頻度が減少している状況も聞いておりますので、原因を調査し、早急に対応してまいりたいと思います。

次に6点目の、雨漏りの箇所は全て補修できたのかについてですが、現在、学校からは、特別教室棟の技術室で雨漏りがあり、令和7年度の予算で改修する予定としております。校舎が老朽化しているため、雨漏りについては、これまでも改修等、対応をしてきたところではあります。今後も授業等で生徒への影響がないよう対応してまいりたいと思います。

次に7点目の、昭和52年建築の体育館は、壁に穴が空き、床に不自然な盛り上がりがある等、劣化しているが、危険箇所の対策はについてですが、体育館についても、現状としては、そのまま利用されていますが、冬場に床面を止めている木製のビスが飛び出たりすることがあると聞いています。これについては、今のところ学校のほうで木槌で叩くなどして対応されておりますが、再度、状況の確認を行いたいと思います。

次に8点目の、生徒が使用する机や椅子は、劣化したりサイズが合わないものがあるが、その対応はについてであります。机や椅子については、現状では、古いものでも今あるものを活用している状況ですが、学校からの要望も聞きながら、修繕が必要なものやサイズが合わないものについては対応してまいりたいと思います。

次に9点目の、昭和53年建築の給食室は、調理員の休憩室は狭く、更衣室がない。調理室内の手洗い場所も限られており利用しにくいですが、その対応はについてであります。給食室については、直近では換気扇の取付けや更衣室の畳替え、屋根の改修を行ったところあります。学校から給食室の拡張の要望がありましたので、給食室の拡張の検討もしてまいりましたが、周辺の体育館や面積の確保との兼ね合いもあり、今のところ拡張は難しいと判断しております。

次に10点目の、校舎の天井の黒ずみ、壁や床などの劣化対策はどのように考えているのかについてであります。施設の改修については、給食室と同様、直近では普通教室棟の雨漏り改修や陸屋根改修、また特別教室等の美術室の床や屋根の修繕など早急に対応が必要な箇所から行ってきております。

しかしながら、施設の老朽化もあり、全てに対応できていないところでもありますが、可能な限り対応してまいりたいと思います。

次に11点目の、移転新築予定の中学校は、南海トラフ地震を見据え、住民のための避難所の機能を備える予定であり、ペット連れの避難者、高齢者や子供連れの方などのための個別対応も予定されている。現状の高千穂中学校での生徒の災害時の安全確保はどのように考えているのかについてであります。平成28年4月の熊本地震の際、本震の2日後に、グラウンド南側下方で大きな岩石の崩落がありました。それまで高千穂中学校では、火災と地震の避難場所をグラウンドと定めていましたが、この年以降、地震での第1避難場所を自校のグラウンドとして、人員点呼、確認ができ次第、第2避難所を高千穂高校グラウンドと定め、家族への引渡しを、道の駅高千穂の第2駐車場を使って行うこととしています。

また、今のところ、新設する中学校の避難所としての機能については、現在、指定避難所となっている武道館や自然休養村管理センターの機能との住み分けを考えたいと思っております。

理想としては、これまでの避難所における新型コロナの経験や全国の被災地の状況を見て、災害弱者と呼ばれるような高齢者、障害者、傷病者、感染者への対応や、ペットの同伴避難の要望など、個別に仕切りや隔離が必要となるケースを想定した設計としたいと考えております。

以上、答弁いたします。

○議長（坂本 弘明議員） 町長、登壇願います。

○町長（甲斐 宗之町長） 教育長に引き続きまして、佐藤さつき議員の御質問にお答えいたします。

2件目の、ふれあい給食サービスについてのうち、ふれあい給食サービスの代替場所についての御質問ですが、6月の第2回定例会で、議員より、学校建設に伴うふれあい給食サービスの今後についての質問を頂き、移転先の検討を進めてまいりますと回答しておりました。

当時の状況では、高千穂中学校移転に伴い、来年度の令和7年度に旧高千穂温泉とレストハウスを解体するために、令和7年3月末までに移転を行わなければならないというタイトなスケジュールでした。そのような状況で、新たな場所を確保し、建設していくことは、予算、スケジュール共に大変厳しいと判断し、町有財産での移転を検討し、向山北小学校跡地ならば、今年度中の改築移転が可能であると判断し、7月に給食ボランティアの皆さんに説明会を開催させていただいたところです。

その後、給食ボランティアの皆さんに現地を視察していただき、移転についてのアンケートも実施させていただきましたが、現在の場所が三田井地区であり、場所や施設、環境等にも慣れていることから、移転への御不安、御心配をおかけしていたところは否定できません。

そのような中、9月に高千穂中学校移転に関する要望書の提出があり、ふれあい給食事業の改築移転事業に関しましても先送りとなり、検討する時間ができてまいりましたので、向山北小学校への改築移転に限らず、ほかに条件がよい場所を確保できないか候補地を検討してまいりたいと考えております。

なお、給食ボランティアの皆様へは、取り急ぎ来年の4月までの移転は先送りとなる旨、11月29日付、保健福祉総合センター所長名で文書を配布させていただいておりますので申し添えます。

次に、3件目の正月の街中の交通渋滞対策についてですが、お正月は、高千穂神社、荒立神社等、有名な神社があることで神殿通りが渋滞することは、皆さん御承知のとおりでございます。

渋滞の原因は、各神社の駐車場のキャパシティを超えたお客様が、車で初詣に来られていることと、真名井交差点では、荒立神社や高千穂神社への車が通行し、高千穂神社の交差点では、各方向から神殿通りに入るため、混雑を生み出す点などがあります。

議員の御質問の中で、駐車場の確保とありますので、高千穂神社を基本に考えたところ初詣で使用できる神社以外の駐車場として考えられるのは、本町役場駐車場、総合運動公園駐車場、田口野の第5観光駐車場、これは苗畑跡地となりますが、距離、徒歩での所要時間等を町ホームページや町公式SNSで案内はできると考えます。

また、別な対策としましては、参拝の時間帯をずらしての分散参拝への協力を呼びかけてはどうかと考えております。神社からお聞きしたところ、三が日の午前10時から午後2時までが参拝客が多く、渋滞が予想されるとのことです。行政防災無線、町のホームページや公式SNSで分散参拝の呼びかけを行い、各神社の授与所の開いている時間帯等も合わせて発信するなど、神

社とも連携しながら対応していきたいと考えております。

以上、答弁いたします。

○議長（坂本 弘明議員） 佐藤さつき議員。

○議員（3番 佐藤さつき議員） それでは、再質問をさせていただきます。

まず、教育環境の整備につきまして答弁をいただきましたが、1件目の1点目、3点目に、移動距離が100メートルほどある長廊下のあることで、体育の授業の後や給食準備前の授業の終わりの時間の厳守など生徒にも、時間割を組み立てる先生方にも苦労をおかけしているという答弁をいただきました。ほかの学校にない大変さがあると自分では思ったところではありますが、また、今年のように雨の多い日が多いと、足元が悪くなったり衣服を濡らしたりするなどの子供たちの現状もあるのかなと想像したりもします。

子供たちが強風の中、雨の中、移動するときなど、そういうとき生徒の管理といいますか、子供たちの衣服が濡れたりとか、移動に不便さをするような天気の場合は実際どのような対策が取られているのでしょうか、教育長に伺います。

○議長（坂本 弘明議員） 教育長。

○教育長（戸敷 二郎教育長） 佐藤さつき議員の御質問にお答えします。

私も勤務をしておりましたので、そのときと状況は全く変わっておりませんので、できるだけ、先ほど答弁で申し上げたように、通路を使わずに済むような環境を整えば、教室のほうで授業を行ったり、しかし、答弁でも申したように、特別教室でなければできない授業というのはございますので、実験やいろんなことで。その場合は、もう最悪の場合は、傘を持ったりしながら横殴りの雨の場合はですね、そういう移動をしている場面も見たことがございます。壁がございませんで屋根だけですので、そういう状況でしのいでいるのが現状でございます。

以上です。

○議長（坂本 弘明議員） 佐藤さつき議員。

○議員（3番 佐藤さつき議員） どうしても特別教室が離れたところにありますので、なかなか改善も難しいのかなとは思いますが、早急に対応していただきたいなと長年思っておりまして、特別教室を早くどうにかできないものかという相談などは伺ったのですけれども、結局それをないまま今に至っているというふうに感じております。

生徒たちが中学生なので、自分たちで考えて行動するのかなとは思いますが、改善ができるものであれば、早急な改善をするべきではないかと考えております。

次に、トイレの臭い、その他に関してですけれども、夏に中学校を視察させていただいたときに、トイレの芳香剤、消臭剤の数の異常な数に驚いたのですけれども、あれを、芳香剤を使っておいても、やはり夏の排水の、排水管から漂ってくる臭いはすごいということでありましたが、

この件に関しまして、本当に改善、これから暑い、去年も猛暑が続きました。また、これからも、また気候変動などで、そういう弊害は出てくると思いますが、やはり老朽化が進んでいる施設のこのような改善が難しいことに関しては、町長は、施設管理者として、どのようにお考えかお聞きしたいと思います。

○議長（坂本 弘明議員） 町長。

○町長（甲斐 宗之町長） 佐藤さつき議員の御質問にお答えいたします。

我が子も高千穂中学校に通っておりますので、そのような状況があるというのは私も理解しております。ちょっと早急な対応と言いましても、そこにトイレを一からやり替えるというのは、なかなか難しいのかなと思うんですが、私もちょっと不勉強な面はありますが、その排水対策として、パイプの途中で一方通行、逆に臭いが上がってこないような、そういった弁みたいなものがないものかといったところも、ちょっと調査をさせていただきながら、できる対策がないのかというところについては検討させていただきたいと思っております。何かしらの対策を打つということで前向きに検討させていただきたいと思っております。

以上です。

○議長（坂本 弘明議員） 佐藤さつき議員。

○議員（3番 佐藤さつき議員） 現場を利用しているのが、やはり子供たちで、なかなか大人にいろんな発する機会がない現場にいますので、それを分かっている先生方からのお話を伺うしかないんですけども、やはり前向きに考えていただけるべきことかなと思っております。

次に、そのトイレに関して、特別教室にあるトイレなんですけれども、今のこの時代に男子と女子のトイレが同じ場所にあり、女子も男子も排泄、排便するに当たり、誰が入ったとか、何をしているとか、そのような状況が分かるようなトイレとなっております。

質問にも挙げておりますが、ジェンダー教育も叫ばれておりますし、昨今、多目的トイレも学校には必ずあるという状況をつくるようになっておりますけれども、このトイレに関しては、答弁には、ここに入りたくないの学校校舎のほうのトイレまでわざわざ帰っていく子供がいるという答弁もありました。この件に関しまして、このトイレの改修はどうにかしなくてはならないんじゃないかなと、あっても使えないようなトイレであったり、入った人が分かたりして、それが、からかいとかいじめとかにつながるなければいいなどは思っておりますが、このトイレの使用に関して、子供たちの弊害は、これ以外に、からかいなどの現状とかは、あつてないのでしょうか、教育長に伺いたいと思っております。

○議長（坂本 弘明議員） 教育長。

○教育長（戸敷 二郎教育長） 佐藤さつき議員の御質問にお答えします。

今御質問のあつた、からかいとかいじめにつながるような事案については報告は受けておりま

せん。答弁で申し上げたとおり、やはり恥ずかしいとか、そういうことで利用しない生徒が多いという報告は受けておるところです。

以上です。

○議長（坂本 弘明議員） 佐藤さつき議員。

○議員（3番 佐藤さつき議員） この件につきましても、できる限りの対応をしていただきたいと思います。最短でも4年半と言われていた今の現状、高千穂中学校を使用する子供たちでしたけれども、それが延びる可能性もあるということです。現状の中学校の改善に関しましては、もっと真剣に取り組んでいただきたいと考えております。

次に、机が、劣化した机とかもたくさんあるのを見せていただいたのですが、その中で気になりましたのが、音楽室などで使っていた穴の開いた机とかなんですけれども、そのような筆記をするに当たり、大変不便を催すであろう、机の劣化もひどいものがありました。それらのものは、もう撤去していただいたかどうか、教育長か教育次長に伺いたいと思います。

○議長（坂本 弘明議員） 教育次長。

○教育委員会次長（林 謙一次長） 佐藤さつき議員の御質問にお答えいたします。

机、椅子等については、現状では修繕できないもの以外は、多少の不具合があっても使用しているという状況でありますけれども、机や椅子のサイズとかそういったものについては、年度当初に希望を聞いて使っていただいているところですが、なかなか全てに対応できていない状況にあります。

以上です。

○議長（坂本 弘明議員） 佐藤さつき議員。

○議員（3番 佐藤さつき議員） 各学校の教育設備の平等な対応というか、子供たちが均等に教育を受ける環境を用意していただけるように努力していただきたいと考えております。

次に、給食室に関してですが、これも昭和30年代にできて、そのままのものでありますが、働き方改革として、その給食室で働かれている方々が、現状、今4畳半ぐらいの部屋に6人の方々が一日過ごすこととなっております。休憩時間も食事をするときも机を出したり引っ込めたりしながら、6人の方々が4畳半の部屋で休憩をすることとなっております。これに関しましては、以前にも、議会でも改修が必要ではないかということをお願い申し上げ、それを検討していただいたと答弁がありますけれども、この件に関しまして、せめてロッカーぐらい、着替える場所ぐらい確保していただければいいのかなとは思いますが、その辺の給食室で働く女性の方々の労働環境の改善については、どのようにお考えでしょうか、町長に伺います。

○議長（坂本 弘明議員） 町長。

○町長（甲斐 宗之町長） 佐藤さつき議員の御質問にお答えいたします。

私も、実は、給食室の中は、直接、まだ見たことがないというのが実情でして、お話を聞く限りでは、非常に余裕がないというふうにお聞きしております。一度、直接給食室の中を見せていただいた上で、改善できるところはないのか、また造り上、おっしゃったような着替える場所、あるいはロッカー室、そういったところが設置が可能かどうかというところを、一旦、建築技師も含めて、しっかりと見させていただきたいと思います。

以上です。

○議長（坂本 弘明議員） 佐藤さつき議員。

○議員（3番 佐藤さつき議員） ぜひ一度見られて検討させていただけたらと考えております。今のこの時代に、どの学校施設の中の給食室を見ても、高千穂中学校の給食室は大変古いもの、劣化しているものと認識しておりますので、そのような対策を取られていただけたらと考えております。

次に、高千穂中学校の子供たちの安全に関しまして伺いますが、南海トラフが、現状、今年の夏はその危険性もあるということで国のほうから発信がされました。もともと、やはり危ない場所に建っているということで、高千穂中学校の移転新築を早めていただきたいという保護者のニーズもあっているところが現状です。

また、移転、新築検討委員会の場でも、三田井地区ではない保護者の方々が、今安全な場所で小学校教育を受けておられるのですけれども、危険な場所への登校とすることに大変不安を感じているという保護者の方の御意見があり、その方々も少しでも早く移転新築をしてほしいという御意見が出て、上がっております。それは切実に訴えられておりました。

学校に通わせられている保護者の方々が、安全に子供たちを出すためには、やはり早急な対応が一番必要ではないかと私はと思いますが、現状、先ほどの避難経路になりますと、なかなか複雑な避難形態となっておりますが、もしも突然、南海トラフが叫ばれている中、大きな災害が来ることがありましたときに、今の避難安全管理で、避難経路と安全管理で本当に大丈夫なのでしょうか、教育長に伺いたいと思います。

○議長（坂本 弘明議員） 教育長。

○教育長（戸敷 二郎教育長） 佐藤さつき議員の御質問にお答えします。

答弁で申し上げましたように、従来、グラウンドを避難場所として活動してきました。しかし、熊本地震の直後、グラウンドの下側になりますけれども、南側になりますが、かなり大きな崩落があって、そのとき私たちも、夕方でしたが、職員室で仕事をしておりましたけれども、かなりの音と振動が伝わってきました。対岸から見たところ、グラウンドが落ちていくほどのことはないにしても、やはり可能性はあるということで、早急に、先ほど答弁で申し上げたように、あの場にとどまらせて保護者を迎えに来らせるということは、ほぼ不可能だと判断しましたので、どの

ルートを通れるのか、その災害の様子次第ですけども、とにかく高千穂高校のグラウンドに向かって安全を確保しながら2次避難場所を設定をして、そして、あの場所だと保護者の自家用車が来れるかどうか分かりませんが、駐車場が、道の駅の駐車場がございますので、そこで確実に保護者に引き渡す、その方法しか、今の場所からの移動は考えられませんので、どのルートを使ってというのは、ちょっと災害の様子次第だというふうに思っておるところです。

基本的には、東日本大震災の折に、御案内の大川小学校の事例がございます。ほぼ数人を除いて職員も亡くなってしまった、移動しなかったために、当時の教頭の指示でその場に残って全員が流されたという事例がございますが、そういうことがないようにということで、今の高千穂中学校の場所であれば、もう高校のほうに向かうしかないというふうに思います。

その亡くなった児童の保護者が、朝、「行ってきます」と言って、なぜ安全なはずの学校で我が子は死なないといけなかったのかという、泣きながらおっしゃっていたのが非常に残っておりますので、そういうことがないようにということで、可能な限り検討した結果が、今お伝えしている状況でございます。

以上です。

○議長（坂本 弘明議員） 佐藤さつき議員。

○議員（3番 佐藤さつき議員） 教育長の答弁などを伺いましたところ、やはり現状、中学校の環境整備に関して、4年半も待たなければいけないこと自体、長いと思うんですけども、それを丁寧な説明ということで、もっと長くなろうとしています。中学校の安全を考えた場合、避難ルートの確保が一番大事かなと、今思いましたので、綿密な計画の上、そういう安全確保をしていただきたいと考えております。

次の質問に入らせていただきたいと思います。今、様々に11点ほど、いろいろな環境整備について御質問をさせていただいたところで答弁もいただきました。こんなに改善ができていない点が多い、現高千穂中学校の環境整備ですが、今まで早急な対応がなされなかったのがなぜなのか、そこを町長、教育長に伺いたいと思います。

まず、町長のほうから、これだけいろんな老朽化、改善点があり、危険地帯でもあるのに、これまで時間がかかったのはなぜでしょうか。

○議長（坂本 弘明議員） 町長。

○町長（甲斐 宗之町長） 佐藤さつき議員の御質問にお答えいたします。

いろいろな細かいところの改善が先送りになったということについては、近い将来、高千穂中学校を別の場所に移転、新築をさせるということを念頭に置いた結果が、今の状況になっております。

よって、我々としては、これまで待っていただいた部分を早期に改善するためには、やはり新

しい場所に、安全な場所に、地震、災害等に対しても強い校舎をしっかりと建て直すということ
を早期にやらなければならないというふうに考えております。

以上です。

○議長（坂本 弘明議員） 教育長。

○教育長（戸敷 二郎教育長） 佐藤さつき議員の御質問にお答えします。

先ほども答弁で申し上げましたけども、私は平成11年から5年間、教諭として、そして平成
27年から2年間、校長として勤務をしておった学校であります。先ほど御指摘のあった状況は、
もうその時代から続いておりましたので、当時の職員、もしくは校長としてお願いをし続けてお
ります。

先ほど町長からもあったように、そのうち建て替えるので、このままにしておきますという答
弁をたくさん受けてきました。職員も生徒も我慢をして過ごしてまいりました。これは高千穂中
学校だけではございません。教職員住宅も、とてもここに住んでくださいと言えるような状況で
ない教職員住宅に入っただいている先生方もいらっしゃいます。しかし、財政のことを言わ
れれば、現場は何も言えないというような状況が続いておりましたので、御質問のことについて
は、私たちが誰よりも当事者として願ひ続けてきたことですが。

ですからこそ、私は、この職に就いて、一日も早く改善をしたいと思って、着任直後、田原小
学校の移転、上野中学校の閉校、高千穂中学校の移転について、早急に対応すべきというふうに
部局とも話をして動いてまいりましたが、県の教育長と話ができたのは、着任して1年半後です。
そこからしか話が進んでおりませんので、私の力不足ではあるとは思いますが、私も皆さん
と同じような気持ちで今の仕事を続けておるところでございます。

以上でございます。

○議長（坂本 弘明議員） 佐藤さつき議員。

○議員（3番 佐藤さつき議員） 教育の現場のプロであります教育長のほうから、ずっと計画を
お願いされている内容でもあるということをお聞きしまして、高千穂町の教育を安心して任せ
ていただけるのだなということを考えました。思いました。あとは財政面とかそういうことがネッ
クになっていたのではあるかとは思いますが、私は個人的に、将来、高千穂を担う人材を育てる
のであれば、教育にお金をかけるのは当然のことではないかと考えております。それを町民のど
れくらいの方が思っただろうかどうかは分かりませんが、人口減少の中、未来を担う子供
たちを育てるためには、教育環境の整備は誰よりも先に行うことであると考えております。その
ことを踏まえて、現状の問題点を解決していただきたいと願っております。

また、丁寧な説明を行うから、今回4年半が、また5年半、分かりません、6年に延びるかも
しれませんが、そのような理由として、子供たちを空いているところに入れればよいという、環

境整備は置いておいて、財源確保のために空いている施設があれば子供たちは入れればいいたろ
うという御意見も、私のほうも伺いました。でも、私は子供たちは物ではないと思います。空い
ているところに入れればいような教育方針をするのであれば、高千穂町の教育は終わりではな
いかと考えております。

また、中学校生活は3年しかない。3年の間、子供たちは過ごしたら、もうあとは出ていく。
3年我慢すればいいんだから中学校にお金をかける必要はないのではないかという御意見も頂き
ました。しかし、この義務教育の仕上げの3年が、どれだけ大事かどうかは、教育のプロである
教育委員会が一番分かっていることだと思います。丁寧な説明をされるのは結構ですが
れども、現場の子供たちが、これから先4年半、確実にあの危ない劣化した学校で過ごすとい
うことをきちんと御理解していただきたいと思います。

以上で、1件目の件についての質問は終わりたいと思います。答弁は今まで頂きましたので結
構です。

2点目のふれあい給食サービスについて伺いたいと思います。この件に関しましては、2点だ
け確認したいことがあります。

まず、ふれあい給食サービスを、今後、高齢者福祉の拠点としては大変大事なことであります
が、なくすようなことはないと認識してよろしいでしょうか。町長に伺います。

○議長（坂本 弘明議員） 町長。

○町長（甲斐 宗之町長） 佐藤さつき議員の御質問にお答えいたします。

我々としましては、非常にこれは重要なサービスだというふうに考えておきまして、ボランテ
ィア、ふれあい給食サービスの作っていただいたり、配達していただいているボランティアの皆
さんが、まだ続けていただける限り、私は続けたいというふうに考えております。

以上です。

○議長（坂本 弘明議員） 佐藤さつき議員。

○議員（3番 佐藤さつき議員） 人材を、このボランティアサービスをされている方々の後を引
き継ぐ人材を育てても、やはりこれは誰でも受けられるサービスなので、ぜひ今後の高齢化社
会に向けては、このサービスは続けていただきたいと思っております。

もう一点は、現状、この活動をされている方々のお話を聞いたところ、やはり食器を、給食を
配布して、またその後、取りに行くという作業がありますので、三田井地区を離れて、今まで現
状、向山北小学校の跡地利用ということも出ておりますが、やはり最近、燃料高騰でもあり、皆
さん運転を伴うものでありますので、ボランティアという名目上、三田井地区中心部からの行動
の発信ということをお願いしているんですけれども、できるだけ民間の使わなくなった施設とか、
町の施設の跡地利用でもよろしいんですけれども、三田井地区でその活動ができるようにしてい

ただきたいというお声を頂いておりますが、その点に関しては、町長のお考えをお聞きしたいと思っております。

○議長（坂本 弘明議員） 町長。

○町長（甲斐 宗之町長） 佐藤さつき議員の御質問にお答えいたします。

答弁で述べましたとおり、これはいいことではないかもしれませんが、すぐ取り壊すということがなくなったということでありまして、少し検討の時間の余裕が出たというところがございます。実際、今、保健センターげんき荘を中心に、新しい場所についても当たり始めているのが実情です。まだ、今この場所というところは明言できませんけれども、可能性のある場所が出てきているということがございますけれども、いろいろな借入れの借りる条件、あるいは改築の条件であるとか、あるいは、近い将来空きそうだけれども、今はまだ空いていないと、そこがいつ空くかというところの確証がまだ持てないというところも、場所もありまして、幾つか候補地を当たっている状況でございますので、できるだけ我々としても、ボランティアさんの意向に沿うような形で、少しでも今の場所からそれほど離れていない、交通のアクセスがいい、かつ駐車場が確保できる、かつ、できたら給食センターとして改築の費用が少しでも安く済む、そういった場所を選定してまいりたいと考えております。

以上です。

○議長（坂本 弘明議員） 佐藤さつき議員。

○議員（3番 佐藤さつき議員） ぜひ今されている方々の要望など御意見が反映されるような跡地を探していただけたらと考えております。

次に、3点目について伺いたいと思います。正月の町なかの渋滞なんですけれども、質問に書いてあるとおりの不便さがあるということですが、駐車場を考えていただいたということで、目的地に行けなかった方々が、その駐車場を利用するということが目的地に行けるようになるのかなと考えております。特に、役場とかは、歩いて、どちらの神社とかにも行きやすいところ、それから観光地にも行きやすいところでもありますので、利用することが、来られた方々が分かれば、少しは改善できるのではないかと思いました。

発信につきましては、ホームページとかいろいろ答弁を頂きましたが、町なかにもその看板があるといいのかなと思っておりますが、その点に関しましては、どのようにお考えでしょうか、企画観光課長に伺います。

○議長（坂本 弘明議員） 企画観光課長。

○企画観光課長（安在 浩課長） 佐藤さつき議員の御質問にお答えいたします。

看板設置ですね。なかなか看板設置になると許可等も出てくる可能性もございますので、今、もう既に、地図を使ってSNSで発信していこうということで準備に取りかかっているところで

ございます。なかなか看板の設置となりますと、目に入らない場合もございますし、所有者の方との交渉とか、設置費用、看板を作る費用とかも出てくると考えておりますので、なるべく今年度、公式SNS等を使って周知を行っていくような形で、もう時間もちょっとございませんので、それで取りあえずやってみたいと考えております。

以上です。

○議長（坂本 弘明議員） 佐藤さつき議員。

○議員（3番 佐藤さつき議員） 幅広く周知するのであれば、いろんな方法を取るべきかなとは思っております。SNSなどを利用しない方もいらっしゃるかもしれませんので、いろんな条件の方が知ることができるような方法を取っていただけるといいのかなと思っておりますが、できない理由を考えると、もういっぱい出てきますので、何とかできる理由を考えて、来られる方を迎え入れていただけたらとは思いますが、町長にも伺いたいと思います。もう目の前に、お正月は迫っておりますので、それでできる範囲のことを、どの程度するつもりなのか、答弁をお願いいたします。

○議長（坂本 弘明議員） 町長。

○町長（甲斐 宗之町長） 佐藤さつき議員の御質問にお答えいたします。

先ほど、企画観光課長が答弁したとおり、看板ということになると、いろいろと本格的な看板になると、西臼杵支庁に許可を取ったりというところもありますので、ガードマンであるとか、いろんな関係者に、実は役場も停められますよといったところを、情報を共有して、案内するにあって、いっぱいだった場合は、あちらに停められますというようなチラシなりを作って、問合せがあったときには、それをお配りする。あるいは道の駅等にも共有して、どこの神社に行くんだったら、ここの駐車場を停められますよとか、そういったことを周知するということも必要かなと思います。

あと我々が懸念しているのは、観光客の皆さんと地元の皆さんが同じタイミングで神社にお参りに、初詣に行かれるというところを少し解消したいと思っておりますので、地元の皆様方には、広報、防災無線等でも呼びかけをしまして、できるだけ答弁させてもらったように、分散で神社に人が集まるような形を取ることによって、よそから来られた方を、多い時間には、ちょっと優先させていただいて、少し朝早い時間、あるいは夕方の時間に地元の皆さんは行ってもらうような形のお願いをすることによって、少し駐車場の余裕が出るんじゃないかというところ、ここの周知を徹底させていただきたいなと思っております。

以上です。

○議長（坂本 弘明議員） 佐藤さつき議員。

○議員（3番 佐藤さつき議員） ぜひ改善できるような対策を考えられて、課題解決に向かって

いただけたらと考えております。

以上で、質問は終わらせていただきます。

.....

○議長（坂本 弘明議員） ここで、11時5分まで休憩いたします。

午前10時58分休憩

.....

午前11時05分再開

○議長（坂本 弘明議員） 休憩前に引き続き会議を再開します。

続いて、田中義了議員の質問を許します。質問席に登壇願います。

○議員（2番 田中 義了議員） 2番、田中義了。定例会最後、一般質問の大トリを務めます。

今年4回、一般質問しました。今回が一番厳しい質問になるかと思えます。

まず、先ほど佐藤さつき議員が高千穂中学校の現状の問題点を追及されました。私も今の子供の教育も大切じゃないかと、幼児から高校生までですね。というのは、移住者が一番気にしているのは子供の教育なんです。和気町の視察に行ったときも、そういう形で教育予算にしっかりと取り組んでおられました。

先ほどから教育長の話聞いていますと、教育予算に回す金がない。委託事業あたりの全面委託して著作権まであげるような事業するんだったら、そちらのほうに教育委員会のほうの予算につけてほしいと、私は思います。したがって、先ほどのさつき議員の一般質問の中にいろんな教訓があったと思います。私は新しい中学校をつくるために、反面教師としてそういうことを取り入れて、いろんな設計に携わってほしいと思います。

それでは、本題に移ります。

私は3月議会、6月議会、9月議会にも高千穂中移転のことについて質問いたしました。というのは、議会は検討委員会を早くつくれと言っていました。結論は早く出せじゃなくて、検討会をつくれだったんですよ。それなのに、検討会が今年の10月やっとできました。町長の諮問機関としてできたんです。しかも、そのできた検討委員会が、たった5回で終わって答申出されました。そういうことについて、私はいろいろな疑問があります。したがって、質問をいたします。

高千穂中学校移転建設などについて、第3回定例会の一般質問に関連して、再度、町長に伺います。

高千穂中学校移転新築検討委員会について。5回開催された温泉跡地、その周辺の地形・環境について、現地視察は行われたのか。また、周辺に住む人たちの声は聞いたのか。

2、委員会答申の基本構想・基本計画とはどのようなものか。なぜ公表しないのか。それについてどのように検証したのか。

3、その基本構想・基本計画の内容に加えて、町長の考えを町民に報告するべきではないか。大きな2番で、高千穂中学校移転先の高千穂温泉跡地などについて伺います。

1、委員会答申前に令和6年度予算案に給食センターを取り壊す予算を計上したが、その代替先に右往左往しているようでしたが、現在どうなっているのか。給食の利用者からの不安の声もあります。私の同年兵で83歳独り暮らしをしている男もその恩恵を受けております。上野の100歳の女性のところに伺いましたら、玄関先に給食の配達用のセットが置かれておりました。給食のセンター事業の廃止さえ懸念する町民もいます。先ほどさつき議員からの質問もあった点と同じですので、もしさらに付け加えることがあったら、町長に伺いたいと思います。

2番目、高千穂温泉跡地の駐車場がふれあいバスの車庫代わりになっているが、代替地を伺いたい。ふれあいバスの運転手さんの安らぎの場所の行き先はどうなるのか。

私は温泉の周り、1月に1回ぐらいは回っております。そうすると、ふれあいバスが何か所に分かれて置かれているんです。暑いさなかでも、あそこのおてんとう様に照らされて休憩されている運転手さんもいました。そういう労務管理の問題もあつての質問をしている次第です。

3番目に、福祉ゾーンには、町国保病院・げんき荘の職員のための駐車スペース約35台分が、福祉ゾーンのところに縄張りがしてあります。崖下の町道からは、そのため舗装歩道やその道沿いに2基の街灯が設置されています。その駐車場の代替先をどうするのか考えてこの答申を町長は受けたのかどうかを承りたいと思います。

4番目、福祉ゾーンは主な建物の建設敷地になると思われるが、昔、そこには五ヶ瀬川河口近くのしゅんせつ工事から出た川砂利が搬入されたが、その量、その深さ、汽水域、河口近くですから、塩分が入った海の水が入ってくるような場所です。そういうところの砂が搬入されたんです。したがって、建設現場になった場合、その中に塩分でも含まれていたら大変なことになると思います。

5番目に、前回の質問に対して、調べたが事実はないとの町長答弁に議事を一時中断しましたが、その後、議会中継を見た町役場職員OBから事実と助言がありました。真相はどうだったのか。

私は前の町議時代に、当時も町長が、宮崎県の福祉畑歩いてきた町長だったんですよ。しかも、その当時は安藤知事ですから、後援会長がその後援会長をやっておりました。その当時、福祉関係で申請したものを取り下げるといふ発言されたわけです。私の記憶の中には、いまだそれが何でというふうにして残っておりました。役場にも職員として、そういうことを記録にどこかにとどめておくべきではないかと。ほかの関係でもそういうことがあります。記録がない。覚えていない。最近、町役場の職員に対して、町民が窓口に行って調べてくれと言ったら、調べもしないで分かりませんか、駄目ですという言葉がかけられる。それはリーダーシップたる町長の発言

関係にも影響しているんじゃないかと、私は思っているんです。

それから、前回の質問に町長は、下水道工事四、五千万円ぐらいでできるんじゃないかというふうに言われました。私は今、吾平の分譲地11戸分ですけど、完成間近だと思っていたら、土砂の捨て場がないからということで、2月の末ぐらいまでに延びたという話も聞きました。町長は、中学校の建設に併せて下水道工事は考えられないかと私は思っていました。というのは、先ほどさつき議員も排水口のおいが云々という話もありましたが、そういうことを考えると、中学校で浄化槽で処理していいのかという問題点もあります。

また、福祉ゾーンの東側道路、街灯組合の街灯が従来、複数本立てられていたと思います。いつの間にかなくなってしまっていました。プール利用者、職員の駐車場の利用者、最近、利用者急増の民間施設があります。そして、地区住民の散歩道にもなっているんです。そういうときに街灯組合は、昔、役場の職員は覚えていないかもしれませんが、全額実施要求して街灯組合つくったんですよ。街灯組合ですね、年間1灯当たり3万円か4万円もらっています。ある程度、街灯組合に頼んででもいいから、街灯残しておいてほしかったんです。しかも、あの病院から温泉のほうに上る道は、浅ヶ部地区なのか三田井東なのか、ちょっと境界が定かじゃないもんですから公民館長に頼もうと思いましたが、それも難しいなと思ってここで取り上げたところです。

地区住民のため街灯をと思うとともに、中学校建設現場になるなら、街灯を残しておくべきじゃなかったのかな。しかも、今、街灯組合と町の関係はどうなっているのか。

3番目、町より早く福祉ゾーンが消滅するが、高齢社会、町議からの質問がありました。60歳以上が6,000人ぐらいいるんです。少子化と高齢化2つの問題が高千穂の大きな最大の問題じゃないかと思います。高齢社会の我が町においては、社会福祉協議会の移転先を早急に検討することが必要ではないかと私は思っています。

4番目に、全国から高校生の剣道の寒稽古のため高千穂に集結するようですが、宿泊施設が足りず、食事も不便との話があります。温泉施設やレストラン施設の一時的利用は考えられないのか。

5番目です。串間市の連携型中高一貫校である福島高校について、先生たちがその運営に困っているような話を聞かされました。現場視察をされたのか。

6番目に、高千穂高校ですけど、全国枠は各科定員の20%と思いますが、その下宿先の確保状況はどうなっているのか。

7番目、最後です。この9月に町長宛てに高千穂中学校移転計画に関する要望書が提出されているが、どのように対処したのか。これは12月4日だったか、教育委員会からの要望書の関係についての説明が少しありました。でも、町長宛てに出された要望書だと思います。したがって、町長のどのようなふうにして対処するのかをお伺いしたいと思います。

以上、よろしくお願いいいたします。

○議長（坂本 弘明議員） 町長、登壇願います。

○町長（甲斐 宗之町長） それでは、田中義了議員の御質問にお答えいたします。

1 件目の高千穂中学校移転新築検討委員会についてのうち、1 点目の委員会が5 回開催されたが、温泉跡地その周辺の地形・環境について現地視察は行われたのか。また、周辺に住む人たちの声は聞いたのかとの御質問についてであります。初めに、温泉跡地その周辺の地形・環境についての現地調査につきましては、温泉跡地のほか、移転先候補地として挙げられたそのほか4 か所の候補地も含めまして、第1 回高千穂中学校移転新築検討委員会において、検討委員の皆様にて全ての移転先候補地の概要についての説明と移転先候補地の現地視察を行わせていただいております。

また、周辺に住む人たちの声は聞いたのかとの御質問につきましては、温泉跡地は町有地であり、周辺の住居からは距離もあるため、今のところお聞きしてはおりません。

次に、2 点目の委員会答申の基本構想及び基本計画はどのようなものか。なぜ公表しないのか。それについて、どのように検証したのかとの御質問についてであります。高千穂中学校移転新築基本構想・基本計画は、令和6 年2 月に、高千穂中学校移転新築検討委員会により策定され、検討委員会委員長から町長である私に答申をいただいております。

高千穂中学校移転新築基本構想・基本計画では、基本構想・基本計画を策定するに至った背景と目的や、高千穂中学校の現状、児童生徒数の現状及び将来推計、関連する本町の計画と学校施設の目指すべき姿、移転先候補地の概要及び選定、学校施設整備の方向性に基づく基本的な考え方などが示されたところであります。

また、この基本構想・基本計画の公表については、令和6 年3 月に、町のホームページに基本構想・基本計画（案）を掲載するとともに、同月の町広報において、ホームページに掲載したことをお知らせしております。また、令和6 年9 月の町広報において、第1 回高千穂中学校建設検討委員会の開催について掲載し、併せて町のホームページで基本構想・基本計画についても掲載したところであります。

また、どのように検証したのかとの御質問につきましては、基本構想・基本計画は検討委員会で検討、協議が重ねられたものでありますので、検討委員会委員の皆様からの答申を尊重させていただき、高千穂温泉跡地での整備を進める判断をしたところでございます。

次に、3 点目のその基本構想・基本計画の内容に加えて、町長の考えを町民に報告するべきではないのかとの御質問についてであります。行政報告でも申し上げましたが、令和6 年度の事業開始後の本年9 月に町内の団体から高千穂中学校移転計画に関する要望書が提出され、現在の高千穂中学校を旧高千穂温泉施設へ移転する計画については保留し、高千穂高校敷地内での併設

について再検討をお願いしたいとの要望が示されました。

町立の高千穂中学校と県立の高千穂高校との併設はカリキュラム編成や施設管理責任等、学校運営において大変困難な事柄が多いことや、高校の建物自体の老朽化等の問題もあることを御説明したところでございますが、御理解を得られていない状況であります。

今後は、将来の生徒数を見越した学校の建築面積や建築費等の事業概要や、国庫補助金や起債などの財源確保等に関する事、高校併設による問題点等について、さらに詳細に検討を行い、要望書への回答を行う必要があるものと考えております。

このため、こうした検討・協議を進め、要望団体の御理解を得られるよう丁寧な説明を行い、一定の方向性をお示しする段階が来ましたら町民の皆様への御説明をさせていただきたいと思っておりますので、今しばらくの御猶予をいただきたいと存じます。

次に、2件目の高千穂中学校移転先の高千穂温泉跡地などについてのうち、1点目のふれあい給食事業の代替先及び町民の懸念の声についてであります。先ほどの佐藤さつき議員への御質問でも回答いたしましたとおり、向山北小学校への改築移転に限らず、ほかに条件がよい場所を確保できないか候補地を検討してまいりたいと考えております。

また、事業の廃止さえ心配する町民がいるとのことですが、6月議会で中学校移転に伴い、旧レストハウスが解体となった場合でも、移転して事業を継続する意思を伝えており、ボランティアの皆さんに説明会を行った際にもその旨伝えておりますので、今のところ、ボランティアの皆さんが調理・配達してくださる限り、事業の廃止は考えておりません。

2点目の高千穂温泉跡地の駐車場がふれあいバスの車庫代わりになっているが、代替地を伺いたいについてお答えいたします。

現在、高千穂の湯跡地の駐車場をふれあいバスの待機所として使用しております。高千穂中学校の建設予定地になった際には、待機所、バス停の位置やダイヤ等も検討していく必要があると考えております。

次に、3点目の駐車場の代替先はどのように対策するかであります。国民健康保険病院職員については、現在、外来駐車場及びすずらん薬局下の契約駐車場に駐車しておりますので、福祉ゾーンに駐車している職員はげんき荘の職員のみとなっております。

高千穂中学校移転に伴うげんき荘職員の駐車場確保については、今月末より協議を行う予定を計画していたところです。げんき荘には30名弱の職員が勤務しており、職員駐車場の確保は必須となっておりますので、職員が安心して勤務できるように、今後、代替地を検討してまいりたいと考えております。

4件目の福祉ゾーンは主な建物の建設敷地になると思われるが、昔、そこに五ヶ瀬川河口近くのしゅんせつ工事から出た川砂利が搬入されたが、その量、その深さ、汽水域の砂利のため塩分

含有量はいかほどかについてであります、平成14年度に福祉ゾーンの造成工事が完成しております。田中議員の御質問にある川砂利の搬入は、それ以降と考えられましたので、当時の搬入元との協議経緯等を知っている職員がいないかどうか調べたところであります、川砂利の搬入作業そのものについては、数人が見た記憶はあるが、どのような経緯で作業に至ったかは分からなかったところであります。現場を確認したところ川砂利の特徴である丸みのある石が散らばっている場所がありましたが、敷地表面は工事用の砂利や雑草に覆われており、深さや量についても把握できない状況でありました。いずれにしましても20年近く前の作業であり記録もないことから、御質問内容にお答えすることは難しい状況であります。

5点目の前回の質問に対して、調べたが事実はないとの町長答弁に議事を一時中断したが、その後、議会中継を見た役場職員OBから事実と助言があったが、真相はどうだったのかについてであります、9月議会で御質問のありました、福祉ゾーンに関する承認申請の取下げの有無につきまして、庁舎に残ります資料では確認ができませんでした。申請前の県との協議において条件が折り合わず申請に至らなかった可能性もあることから、一旦申請した後に、承認申請を取り下げたという事実は確認できなかった旨の答弁を行ったものであります。

6点目の、前回下水道工事が四、五千万円かかるとの回答があったが、吾平の宅地分譲地と中学校の建設に併せて下水道工事は考えられないかについてであります、前回答弁しました四、五千万円は、町道三田井・岩戸線の保健福祉総合センターげんき荘前から高千穂中学校移転候補地までを下水道管を埋設した場合の概算事業費で答弁したものです。吾平の宅地分譲地までで試算しますと、七、八千万円はかかるものと思われます。それに併せまして、町道三田井・岩戸線の荒立神社入り口付近、鉄橋下に下水をポンプで圧送する施設がございますが、こちらが新たに下水道接続して増えた下水を現ポンプで圧送する場合に、能力が足りなければ、このポンプの取替えも必要になります。建設当時の事業費で1,300万円であることから、全体の概算事業費は1億円弱程度と見込まれます。事業期間的にもこのような検討と国・県との下水道法に基づく計画の変更協議、測量設計、工事と完成までには数年かかることになると思われます。

また、吾平の宅地分譲地は、早い方で来年度には家を建てられると聞いております。来年度では下水道整備は間に合いませんので、合併浄化槽になると思われますが、下水道整備後に下水道を接続するとしましても、建設時の合併浄化槽費用と下水道接続時の下水道受益者負担金が必要となり、住人の方の金銭的負担が多くなります。他の宅地希望者も同様のことが考えられ、下水道接続をしない選択をされる方がおられることも考えられます。このようなことから、下水道整備による効果は低いと思われます。

7点目の福祉ゾーンの東側道路に街灯組合の街灯がいつの間にかなくなった。地区住民のために街灯をと思うに、中学校建設現場になるなら街灯を残すべきだった。街灯組合との関係はどう

なっているのかについてお答えいたします。

現在、本町が街灯組合に提供している街灯は、吾平の三差路に1本、これは企画観光課所管のいきいき温水プールすこやか館と記載されているものでありますが、この1本のみ設置をされております。

3件目の町より早く福祉ゾーンが消滅するが、高齢化社会の我が町においては、社会福祉協議会の移転先を早急に検討することが必要ではないかについてであります。社会福祉協議会は子育て世帯や障害者、高齢者や生活にお困り事のある世帯などへの支援事業を行っております。建物は老朽化も進み、不具合が生じる都度改修を行っております。現在、高千穂中学校の移転建設が検討中でありますので、社会福祉協議会の移転につきましては、状況を見ながら時期など判断していくことになるものと考えております。

4件目の全国から高校生が寒稽古のため高千穂に集結するが、宿泊施設が足りず、加えて食事も不便との話がある。温泉施設やレストラン施設の一時的利用は考えられないかについてお答えいたします。

旧高千穂の湯の施設は、雨漏り箇所や水道管の漏水箇所もあるため、トイレや水道が現在使用できない状況です。そのため、宿泊施設等での利用はできません。また、レストラン施設もふれあい給食で使用するため、レストラン等で利用することはできない状況であります。

5件目の串間市の連携型中高一貫校である福島高校について、先生たちが運営に困っているとのことだが、現地視察をされたのかについてであります。連携型中高一貫校につきましては、板倉議員からの御質問もありましたので重なる部分もありますが、連携型中高一貫校の取組は、県全体としても注目が集まっていたましたが、本地区も含め同じ取組にシフトした地区は、これまで現れておりません。

串間市での中高一貫校の具体的な中身については、入試の軽減化と一部教科の乗り入れ及び一部行事と部活動の合同実施であると聞いておりますが、県立の中高一貫校ではありませんので、それぞれ別々に編成する教育課程の中で行われているため、そういった面で困難さがあると考えております。

なお、福島高校への視察については、これまで行っておりません。

次に、6件目の高校全国枠の下宿先確保状況はありますが、令和7年度の高千穂高等学校の全国枠での新入生について、生産流通科定員40名、情報ソリューション科定員40名、普通科定員80名の20%、最大合計32名を上限に募集しております。

全国枠生徒の下宿先につきましては、11月末現在、6件7部屋を受け付け、相談を行っており、現在も随時募集中であります。現地確認、高校協議等審査後に正式決定する見込みであります。

全国卒入学に必要な学区外入学志願許可願の提出締切りが1月末、入学願書の締切りが2月後半であるため、最終的に全国卒の応募が何人になるかは、現時点では回答できませんが、既に全国卒を施行している他校の例を見ますと、応募当初の応募はゼロ名から数名程度であり、また、事前説明会やオープンスクールでの感触などを考慮すると、現在確保した下宿で十分対応可能と考えております。

年数が経過するにつれ、留学する全国卒生徒数は増えると思われませんが、今後につきましては、全国卒生徒数の推移を見ながら検討したいと考えております。

次に、7件目の9月に町長宛てに高千穂中学校移転計画に関する要望書が提出されているが、どのように対処したのかについてであります。先ほど申し上げたとおり、当初、高千穂温泉跡地での整備を進めていくこととして、令和6年度予算に必要な予算を計上し、事業を開始したところでありますが、9月26日に町内の団体などから高千穂中学校移転計画に関する要望書が提出され、現在の高千穂中学校を旧高千穂温泉施設へ移転する計画については保留し、高千穂高校敷地内での併設について、再検討をお願いしたいとの内容の御要望でありましたので、高千穂高校との併設の件については、設置者の異なる学校による管理体制の複雑さや、高校の施設も老朽化している状況もあり、単独での移転建て替えを判断したところでありますが、要望書が提出されたことを受けまして、現在、生徒数に応じた必要な面積や規模での建設費用の算出や、また補助事業や交付金の活用による財源の確保につきまして、詳細な検討を行っております。このことも踏まえた上で、要望書への回答を行う必要があるため、再協議を行っている状況でございます。

以上、答弁といたします。

○議長（坂本 弘明議員） 田中義了議員。

○議員（2番 田中 義了議員） 答弁は簡単にお問い合わせいたします。

まず最初に、前日も委員会5回開催された話を聞きました。ホームページに書いてあるんじゃないかと、議員の人たちからも指摘がありました。なぜ私が質問したか。第1回が3人、第2回が2人、第3回が4人、第4回が5人、第5回が4人。委員の人たちが欠席したところで検討委員会が開催されているんです。町長が委嘱した人たちですよ。それなのに欠席している。私はそこを、町長はなぜ答弁のときに気がつかなかったのかなど。気がつかせるために質問したんですよ、私は。ほかの審議会、委員会は、日程調整をしてくれます。田中さん、委員会出られますか、この日とこの日とってやるのに、なぜそういう日程も調整しなかった。

というのは、私は11月の時点で5つの候補地を聞きました。あとは温泉跡地にもう決まっている。正解はそれだなと。だから、みんな委員の人たちもそういうつもりでやったんじゃないか。しかも、町長は概算要求、11月ぐらいから始めますと。1月の予算、町長、ヒアリングでもレストハウスの取壊し関係も予算にされているんですよ。請求をされているんですよ、概算要求を。

ということで、そういう委員会でもよかったのかどうか伺います。

○議長（坂本 弘明議員） 町長。

○町長（甲斐 宗之町長） 田中義了議員の御質問にお答えいたします。

確かに欠席者がおられたということは私も把握しております。できれば全ての委員の皆さんが出席されることが望ましかったとは思いますが、欠席された委員の皆様方にも資料をお送りし、そして必要に応じて、意見があればいただいていたというふうに理解しておりますので、その場にはいらっしやらなかったけれども、必要な意見については、事務局、教育委員会のほうでやってもらいましたけれども、伺ったというふうに考えておりますので、必ずしも欠席者がいたから、みんなの意見が反映されていないとは考えておりません。

以上です。

○議長（坂本 弘明議員） 田中義了議員。

○議員（2番 田中 義了議員） 現地視察の話も聞きました。第1回目に現地視察しました。私は現地視察には現場確認と現場調査というのがあるんじゃないか。第1回目は現場確認で、5回、4回目ぐらいに現場調査すべきじゃなかったか。そうすれば福祉ゾーンの川砂利の問題あるいはレストハウスの問題、あるいは職員の駐車場の問題もそこで問題提起されてよかったんじゃないかというふうに思っております。しかも、町長は答えました。町有地だから、住民の意見を聞かなくてもいいんだと。学校とか病院とか周りの環境問題、地域住民からの問題、交通量の問題、特に中学校を建てることになればスクールゾーンの問題、交通規制の問題も出てきます。しかも、建物なんかも規制されることもあります、何百メートル以内とか。そういうことをなぜ町民の声を聞かないんですか、町長。

○議長（坂本 弘明議員） 町長。

○町長（甲斐 宗之町長） 田中議員の御質問にお答えいたします。

あそこの場所につきましては、町の施設として利用していた経緯がございますので、その周辺に与える影響というのは、温泉として活用していた時点から、あそこは町の施設として活用しておりましたので、その点については様々な面で周りの人たちもあそこの場所の状況はよく把握ができていたというふうに考えております。

また、地域の皆様方についても、公民館長をはじめそういった構想があるということはお話をし、地域としても協力をしたいなというようなお話もされていたとお聞きをしておりますので、問題はないかなというふうに考えておったところです。

また、レストハウスの問題、また駐車場の問題につきましては、学校建設を考える時点で、そこまで様々な配慮しながら検討、その対応も併せて詳細に検討すべきだったなというところの反省はあります。

以上です。

○議長（坂本 弘明議員） 田中義了議員。

○議員（2番 田中 義了議員） 先週金曜日に農済のところの県の職員というか、職員の方に聞きましたら、まだ説明が1回もない。あそこは9人の職員がいます。しかも、会議があると20数台の車も来ます。また、吾平店にはシイタケの乾燥小屋を壊してまで第2キャンプ場をつくりました。邦臣の自動車工場もあります。しかも、吾平店を利用するために、尾迫原というか、の通りと病院からの通りが2つがあるんですけど、交通量が昔に比べると多くなっているんです。しかも、スクールゾーンが木田建設のところからずっと横丁の郵便局まで、あっちがスクールゾーンになっているんですよ。病院側の歩道橋が完備されているのに、そこをスクールゾーンにしていないんですよ。おかしいと思いませんか。そういう交通量とかスクールゾーンの設定をちゃんと考えて、地域の住民にも説明すべきじゃないかと私は思っております。

それから、時間がなくなりますので、もっと重大な話をさせてください。私は地震の被災の問題もやりました。ところが、温泉跡は関係ないからというふうに言われました。地震帯が中央構造線の下の高千穂町を通過して八代方面かに通る、まだ地震帯があるんだそうです。昔、高千穂峡の下で震度6か7ぐらいの地震があったそうです。それは震度が100キロ下ぐらいだったから、高千穂はたしか震度3ぐらいで40秒ぐらいの揺れだったと聞いております。高千穂の中、その中央構造線と南のほうの地震帯の間は断層がぐしゃぐしゃにあるというような話も聞いております。そういうことも断層の調査もしてほしいと私は思います。

そして、もう一つありました。九州中央道のトンネルの問題です。町長は中学校の建設に影響はないと言いました。私は馬門から塩市に抜けるトンネル工事が、将来、玉垂の滝、真名井の滝、そして町民の命の水である水道事業にも影響してくるんじゃないかと思っております。そういうことで一応町長に質問したところです。今から童里トンネルも貫通間近です。そうすると橋がかかって、その馬門から塩市のトンネルが抜けます。そのとき、もし水脈が焼山寺から流れてくるような水脈を断ち切るんじゃないかと懸念しております。そういう大きな問題があるんじゃないか。

したがって、高千穂中学校をあそこに建てる。そのときにトンネル工事とふくそうするんじゃないかと私は懸念しております。そうすると宮尾野の農場辺りにまたトンネルが抜けて外に出て、それからまた温泉下を通過して塩市のほうに抜けるというなると、さらに建築関係、高千穂中学校移転先の建築が大変なことになるんじゃないかと影響を懸念しております。

それからもう一つ、ふれあいバスの運転手さんたちがこういうふうにして、野外におてんとう様が直接当たるような場所で休憩取られているわけです。今、盛んにドライバーの安全管理、労務管理が叫ばれております。安在課長にお尋ねします。ふれあいバスの労務管理どうなっている

のか。

○議長（坂本 弘明議員） 企画観光課長。

○企画観光課長（安在 浩課長） 田中議員の御質問にお答えいたします。

ふれあいバスにつきましては、宮交タクシー等に委託をしております、そちらのほうで労務管理をしていただいているところでございます。先ほど駐車場で待機をされているということでありますので、また委託先のほうにも聞き取りを行ってみたいと考えております。

以上です。

○議長（坂本 弘明議員） 田中義了議員。

○議員（2番 田中 義了議員） 昔、五ヶ瀬川河口から川砂利が運ばれたという話ししました。

福祉ゾーンの申請の話は、記録も何もなかったと。私も記憶だけになりましたけど、そういう記録を残しておかなかったのはうかつでした。川砂利はちゃんとこういうふうにしてボランティア活動で2007年、武田計助さん、今村光夫さんたちがボランティア活動で温泉の周りを草を刈られたり、手製の木製のベンチを造ったりされていまして、その砂利の運ばれたところですね、土を搬入してコスモス花畑をつくったり、小麦を植えたり、利用客の人に喜んでもらおうという努力をされておりました。そのとき私は年4回ぐらいボランティアに参加しました。その一つが、コスモスの苗を植えたりしたんですけど、そこにこういう看板を立てられているんですよ。町のほうにも許可を取って立てているはずなんですよ。それなのに、誰も記録していない。おかしいんじゃないかと思います。私は公的機関だったら、ある程度記録を残しておいて、失敗したときでも記録に残しておくべきじゃないかと思います。このときそのボランティアの人たちが書いた文章を読みます。

よみがえりに活用ありがとう。私たち生まれ育ちも西臼杵・東臼杵郡の山奥、五ヶ瀬川上流の山中です。長い年月を経て延岡の五ヶ瀬川河口までたどり着きました。あまりにも大集団となり、一昨年台風14号により川を氾濫させ、長い年月を経て延岡の五ヶ瀬川河口までたどり着きました。私たち自力ではどうすることもできません。このたびは行政または各界の方々のおかげでふるさとに帰ってくることができ、皆さんのお役に立つこと大変うれしく思っています。今後は活力のある交流の場、くつろぎ、癒やしの広場になることを願ってやみません。という、五ヶ瀬砂利太郎というペンネームでこういう看板を立てたんです。このことぐらいは覚えておいてもいいんじゃないですか。しかも、ボランティア活動に役場の職員誰一人参加してなかったんでしょうか。私はそれはおかしいと思います。こういう看板までつくってされていたボランティア活動なんです。町有地を勝手にコスモス花畑にしたり、小麦畑に誰がするでしょうか。役場がオーケーしたからできた話なんです。それが記録も残っていない。記録ぐらいは残しておいてほしいと思います。私でさえこういう証拠写真を持っております。回答はいいです。

また、教育に対して、教育予算も少ないですから、もっと増やしてほしいという要望したいと思いますが。しかし、今から10年先、20年先のための子供たちのために教育費を惜しんではならないという感じだからこの移転先の話があります。先ほど言ったように移転先の難点、欠点、それらを克服しない限り、5年先、6年先になるかもしれません。そうするとさらに、さつき議員も懸念していました、早急に子供たちを新しいところに入れてあげたい。そういうことがだんだん薄らいできます。

また、ハード面的なことと一緒に町の財政力の問題があります。たしかさつきの答弁のときに、木城町が29億円の義務教育一貫校をつくったという、それを前提に事業費はこのくらいですよという話だったと思います。ですが、木城町のほかにも美郷町にもあるんですよ。そこの事業費が幾らぐらいだったのか。そういう調査をされての回答だったのか。1か所だけで回答されるということはちょっとおかしいんじゃないかと私は思って調べました。木城町も美郷町もその管内に電力会社があるんですよ、九電の。発電所があるんですよ。したがって、木城町はその当時、たしか33億円の基金があったみたいです。しかも、経常収支比率が80%なんですよ。今も80%台です。美郷町の収支経常比率が80%なんですよ。高千穂は今何%ですか、町長。

○議長（坂本 弘明議員） 町長。

○町長（甲斐 宗之町長） 田中議員の御質問にお答えいたします。

今正確に数字が把握できませんが、96以上はあったというふうに把握しております。ちょっと正確ではないかもしれません。

○議長（坂本 弘明議員） 田中義了議員。

○議員（2番 田中 義了議員） 96%です。11月7日に町の財政力の問題について、町外とか、部外者が説明をしてくれました。それで、高千穂町の財政力関係を分析してくれているんです。私は財政課がわざわざ高千穂中学校移転に関する資料として提供されたんじゃないかと思っております。

ところで、一番最後、結論だけ言います。一番高千穂町の問題として、老朽化に対する公共施設の更新整備、自主財源の確保ということがわざわざ書いてあるんです。しかも、一番前には北海道夕張市の財政再建団体の話まであります。そして、財政再建団体の前の財政非常事態宣言をされている都市の名前を9上げられまして、その中の一部は経常収支比率が98%のところもありました。もう高千穂も間もなくあれするんじゃないかと。

例えば来年は国家公務員の給料が30年ぶりに高額アップします。103万円の壁では地方税の減収や非課税世帯の関係の、高千穂はたしか3割超えていると思いますけど、そういう人たちの支給もしないといけない。分母が減って分子が増える状態になると、100%超えるんじゃないかと思いますが。

そこで、中尾監査委員に聞きます。100%収支比率を超えたらどうなるのでしょうか。

○議長（坂本 弘明議員） 監査委員。

○監査委員（中尾 清美監査委員） 田中議員の質問にお答えします。

経常比率が96%台ということで、町長お答えいただきましたけれども、ちょっと調べた中で、平成28年度から90%を超えておりまして、その後、令和3年に一時コロナ交付金関係で80%台になっております。これが100%超えますと、やはり北海道の旭川と一緒に再建団体になるんじゃないかと考えております。

以上です。

○議長（坂本 弘明議員） 田中義了議員。

○議員（2番 田中 義了議員） 町の財政力は非弾力化が進んでいるんです。したがって、なるべく中学校移転も、教育に予算は関係ないじゃないかという人もいますが、私は町政あつての教育じゃないかと思えます。町が頑張ってくれなきゃと私は思っております。

この最後の言葉は、ふるさと公社が頑張ってくれと書いてあります。ふるさと公社の社長である町長に、その自主財源的な増やす策は何か持っているのか聞きたいです。

○議長（坂本 弘明議員） 町長。

○町長（甲斐 宗之町長） 高千穂まちづくり公社のことかなと思いますけれども、昨日もお答えしましたけれども、まずは観光での収益を上げていきたいということで、駐車場の有料化、また高千穂峡の入域料を確保するというのも考えたいと思いますし、県内では宮崎市が宿泊税といったところも取組を始めておりますけれども、そういった部分も我が町においても検討できる部分はあるのではないかなというふうに考えているところです。そういった知恵を絞りながら、新たな財源確保に向けて取り組んでまいりたいと考えております。

以上です。

○議長（坂本 弘明議員） 田中議員、時間でありますので、おまとめをお願いいたします。

○議員（2番 田中 義了議員） 高千穂中学校移転に関しても、いろんな町政に絡んだ問題がたくさん出てきます。みんな役場の職員が全体でグループとして頑張ってもらいたいと私は思います。教育関係だから教育委員会だけでいいと思わないで、全体的に町長のリーダーシップの下で働いてほしいと思いますが、町長どうですか。

○議長（坂本 弘明議員） 町長。

○町長（甲斐 宗之町長） 田中議員の御質問にお答えいたします。

実際ワーキンググループをつくりまして、そこで教育委員会、建設課、財政課、総合政策課、そういったところがチームを組んで検討を行っておりますので、そういった教育委員会だけではなかなか難しい部分がありますので、そういった形で今も進めているところでございます。

以上です。

○議長（坂本 弘明議員） 時間です。田中義了議員。

○議員（2番 田中 義了議員） 最後ですけど、町長をはじめ皆さん、町民の声を反対の声も聞いてほしいと思います。賛成の声だけしか届かないような町政では駄目なんです。反対の意見あるいは違った異なる意見、そういうものも尊重してほしいということを書いて、本年度の一般質問の大トリを務めさせていただきました。ありがとうございました。

○議長（坂本 弘明議員） 以上をもちまして、本日の日程は全て終了いたしましたので、これにて散会します。

○事務局長（興梠 恵志事務局長） 御起立をお願いいたします。一同、礼。

〔起立・礼〕

午後0時06分散会
